

令和5年度

# えべつ中学生サミット & いじめ根絶子ども会議

令和6年1月11日(木)13時30分  
江別市民会館小ホール

えべつ中学生サミット実行委員会

# 次 第

- 1 開 会
- 2 実行委員長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 出席者紹介
- 5 各学校の取り組み発表・意見交流
  - (1)各学校の取り組み発表
    - テーマ1  
「いじめ根絶に向けた取り組みや考え」
    - テーマ2  
「学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気づくりのための行事などの実施」
  - (2)混合グループによる意見交流
- 6 全体講評
- 7 閉 会

# 実行委員会名簿

実行委員長	千葉 則 理	江別第一中学校
副実行委員長	中 出 真 勇	江別第三中学校
事務局長	久々江 史 也	大麻東中学校

## — 委 員 —

	信 定 迅	江別第一中学校
	櫛 引 久 人	江別第二中学校
	窪 田 恵 梨	江別第三中学校
	藤 田 生	野幌中学校
	岡 崎 佑一郎	大麻中学校
	平 井 宣 子	大麻東中学校
	石 川 裕 康	江陽中学校
	田 代 春 菜	中央中学校
	大 沢 直 樹	立命館慶祥中学校
コメンテーター	飛 田 寿 一	少年指導センター専任指導員

# 実施要領

- 1 目的 各学校の生徒会で取り組んでいる内容やいじめ根絶に向けた取り組み等について、中学校の生徒会が意見交換を通じて交流し、他校の活動に刺激を受けることで、生徒会活動の更なる発展、そして生徒自らが学校をつくる意識を育む議論がすすむよう活性化を図る。
- 2 名称 第16回 えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議
- 3 開催日 令和6年1月11日(木) 13時30分より
- 4 会場 江別市民会館 小ホール
- 5 主催 えべつ中学生サミット実行委員会
- 6 内容 各学校が「いじめ根絶に向けた取り組みや考え」、  
「学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気づくりのための行事などの実施」をテーマに、代表者による実践発表を行う。  
後半は、生徒自らが司会・記録を務め、グループに分かれて意見交流を行い発表する。

# 参加生徒

## ■江別第一中学校

福田 夏 芽(2年) 海 津 花 乃(1年) 佐 藤 大 誠(2年)  
河 野 音 和(2年) 秋 元 夕 空(2年) 倉 賀 野 あかり(1年)

## ■江別第二中学校

飛 田 蒼 介(2年) 橋 田 心 咲(1年) 金 内 優 香(2年)  
元 木 雅 茂(1年) 早 坂 そ ら(2年) 長 谷 川 悠 莉(1年)

## ■江別第三中学校

岩 崎 耀 司(2年) 松 原 絆 奈(2年) 布 谷 千 明(1年)  
螺 良 朱 里(2年) 菊 池 胡 花(2年) 佐 々 木 紗 那(1年)  
山 口 日 彩(2年)

## ■野幌中学校

北 山 七 海(2年) 岩 佐 凜 子(2年) 庄 野 初 陽(2年)  
佐 藤 晃 葵(2年) 木 澤 景 (2年) 山 本 晶 也(1年)

## ■大麻中学校

菊 野 夏 蓮(2年) 伊 藤 麻 由(2年) 板 東 美 春(2年)  
伊 藤 柚 葉(2年) 石 田 桜 子(1年) 佐 藤 優 志(1年)

## ■大麻東中学校

相 澤 芽 依(2年) 西 村 虎 流(2年) 佐 藤 芽 衣(1年)  
栗 田 亜 呼(2年) 柳 田 航 汰(1年) 藤 田 健 吾(2年)

## ■江陽中学校

堀 内 廉 太(2年) 遠 藤 加 穂(2年) 杉 本 蒼 波(1年)  
中 村 步 嵩(1年) 丸 山 七 愛(2年) 中 田 鷹 亮(2年)

## ■中央中学校

能 呂 琴 音(2年) 大 石 陽 向(2年) 村 上 り あ(1年)  
西 塚 日 香(2年) 棚 田 蒼 大(1年) 細 谷 縁 (2年)

## ■立命館慶祥中学校

田 村 紗 那(2年) 大 聖 姫 花(2年) 伊 藤 誠 之 助(2年)  
池 田 悠 人(1年) 成 田 叶 歩(1年) 下 垣 一 華(1年)

以上9校 55名

# 意見交流

## グループ別参加生徒

### ◆ グループ1

<司会> 福田 夏芽(第一中2年) <記録> 海津 花乃(第一中1年)  
能呂 琴音(中央中2年) 栗田 亜呼(大麻東中2年) 木澤 景(野幌中2年)  
早坂 そら(第二中2年)

### ◆ グループ2

<司会> 金内 優香(第二中2年) <記録> 元木 雅茂(第二中1年)  
伊藤 誠之助(慶祥中2年) 杉本 蒼波(江陽中1年) 菊野 夏蓮(大麻中2年)  
松原 絆奈(第三中2年)

### ◆ グループ3

<司会> 山口 日彩(第三中2年) <記録> 蝶良 朱里(第三中2年)  
佐藤 大誠(第一中2年) 大石 陽向(中央中2年) 柳田 航汰(大麻東中1年)  
山本 晶也(野幌中1年)

### ◆ グループ4

<司会> 岩佐 凜子(野幌中2年) <記録> 庄野 初陽(野幌中2年)  
飛田 蒼介(第二中2年) 池田 悠人(慶祥中1年) 丸山 七愛(江陽中2年)  
伊藤 麻由(大麻中2年)

### ◆ グループ5

<司会> 伊藤 柚葉(大麻中2年) <記録> 板東 美春(大麻中2年)  
岩崎 耀司(第三中2年) 河野 音和(第一中2年) 村上 りあ(中央中1年)  
藤田 健吾(大麻東中2年)

### ◆ グループ6

<司会> 相澤 芽依(大麻東中2年) <記録> 佐藤 芽衣(大麻東中1年)  
北山 七海(野幌中2年) 橋田 心咲(第二中1年) 成田 叶歩(慶祥中1年)  
中田 鷹亮(江陽中2年)

### ◆ グループ7

<司会> 堀内 廉太(江陽中2年) <記録> 中村 歩嵩(江陽中1年)  
石田 桜子(大麻中1年) 菊池 胡花(第三中2年) 佐々木 紗那(第三中1年)  
秋元 夕空(第一中2年) 棚田 蒼大(中央中1年)

### ◆ グループ8

<司会> 西塚 日香(中央中2年) <記録> 細谷 縁(中央中2年)  
西村 虎流(大麻東中2年) 佐藤 晃葵(野幌中2年) 長谷川 悠莉(第二中1年)  
下垣 一華(慶祥中1年)

### ◆ グループ9

<司会> 田村 紗那(慶祥中2年) <記録> 大聖 姫花(慶祥中2年)  
遠藤 加穂(江陽中2年) 佐藤 優志(大麻中1年) 布谷 千明(第三中1年)  
倉賀野 あかり(第一中1年)

令和5年度

えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議

# 発表レポート

江別第一中学校	・・・	8
江別第二中学校	・・・	10
江別第三中学校	・・・	12
野幌中学校	・・・	14
大麻中学校	・・・	16
大麻東中学校	・・・	18
江陽中学校	・・・	20
中央中学校	・・・	22
立命館慶祥中学校	・・・	24



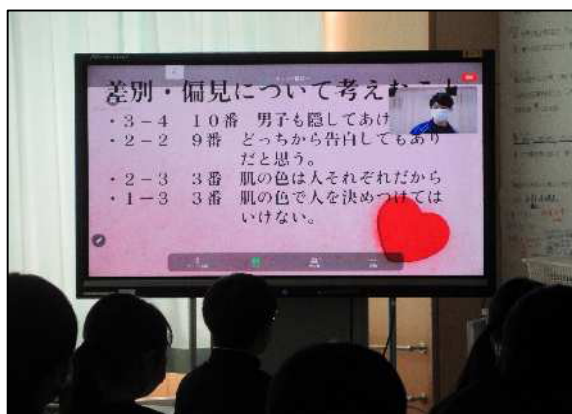
# 第16回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」

## 発表レポート

学校名	江別第一中学校
-----	---------

テーマ	いじめ根絶に向けた取り組みや考え
-----	------------------

今年の2月にピンクシャツデーという活動を行いました。事前に道徳の時間で全校生徒にピンクシャツデーの概要を伝え、いじめや偏見について話し合ってもらい、翌日ピンクのシャツを着て生徒会メンバーが朝にあいさつ運動を行ったり、巨大ピンクシャツ型の模造紙へ生徒の寄せ書きなどいろんな活動を行いました。ピンクの物を身につけてきてくれる人やいじめや偏見について真剣に話し合ってくれる人が多く見られ、とても良い活動になりました。次回も行う場合は全校生徒にいじめに関してより考えてもらえるような活動を考えたいと思います。



テーマ	学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気作りのための行事などの実施
-----	-------------------------------------

### ～体育祭～

今年度の体育祭ではコロナ明けで体育祭を更に盛り上げるために生徒会主催の種目として新たに「縦割り玉入れ大会」を行いました。縦割りで行うことで、学年を問わず生徒が協力したり、交流するきっかけをつくることを目的に行いました。学年問わず楽しくできた一方、改善点としては保護者の方への内容の周知が完全にできていなかったことが挙げられます。来年度も新しい企画を考えていきたいと思えます。



### ～文化祭～

文化祭では、コロナ禍になる前までは壁新聞などを行っていましたが、コロナ禍になってから行うことができなくなり、コロナ禍が明け、今年度新たに「モザイクアートの取り組み」と「クラス紹介のPVづくりの取り組み」を行いました。





また、このほかにも縦割り合唱交流会も行ったり、全学年と保護者を体育館にいらした文化祭を行うことができ、昨年度よりも非常に盛り上がる、有意義な行事とすることができました。

モザイクアートでは全校生徒に完成時のデザインを知らせず、1マス0.5cmほどのA4の紙に指定の色を塗ってもらい、文化祭の前日に集めたものを完成させて文化祭の当日にステージバックとして発表しました。予想以上の完成度で好評でした。クラス紹介のPVでは、各クラスで話し合って責任者や編集者などを決めてもらい、脚本から撮影、編集まで行ってもらい、完成したPVを各学年の合唱前に全校生徒の前で流しました。色々なアイデアがそれぞれのPVに詰まっていますととても良い結果になりました。

生徒の皆さんからの文化祭についての反省では、「文化祭特別期間は練習などがんばり、当日は全力で盛り上がる」「一人ひとりが楽しいと思える」文化祭にすることができたといういい反省ができました。一方で、「もう少し時間に余裕を持って、楽しみたい」「もっと色々な人が活動に参加できるようにしたい」など、来年に向けて改善しなければいけない点もでてきました。



## まとめ

どの活動もコロナ禍が明けたことで、生徒同士の交流、協力をする場を作れたので良い取り組みになりました。初めての試みでまだまだ改善点もあるので保護者の方への周知をもう少し別紙で徹底したり、もっと色々な人が活動に参加できるようにクラス活動以外のちょっとした活動を増やすなど、生徒の皆さんにアンケートを取り参考にしながら広い視野で改善、工夫をして、次の取り組みに繋げて最善の状態で行えるようにしていきたいと思います。

また、このことをきっかけとして、学校全体のいじめ根絶に繋がれば良いと思います。体育祭や文化祭のような大きな行事以外にもクラス単位や学年単位で協力して何かを作ったり、目標を達成できるような取り組みを考え、いじめを助長するような雰囲気ではなく、よりよい雰囲気をつくることのできる学校にしていきたいです。

# 第16回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」

## 発表レポート

学校名	江別第二中学校
-----	---------

**テーマ** いじめ根絶に向けた取り組みや考え

江別第二中学校の生徒会は、「若草会」といいます。それは、開校したときに全校生徒に生徒会の名前を募集して決定したという伝統のもと、ずっとこのように呼ばれ続けています。そのため、事務局で取り組む活動には「若草」という名前がつけられます。例えば、「若草集会」「若草ステーション」などです。

そこで、いじめ根絶に向けた取り組みや考えについて、江別第二中学校若草会事務局では、次の取り組みをしています。

### ◎若草集会

#### 目的

- ・全員でいじめや人との関わりについて考える機会をもち、いじめがなく全員が過ごしやすい学校風土にする。
  - いじめの定義といじめの四層構造（被害者・加害者・観客・傍観者）について、学級討議を通して理解を深める。
  - ・二人権宣言の意味について再確認し、いじめをさせない・しない・許さないという雰囲気をつくる。
- ※二人権宣言：・お互いを尊重しながら日常生活を過ごす。  
 ・いじりや冗談が「いじめ」につながることを理解して、相手の嫌がる言動をしない。  
 ・誰もが安心して楽しく学校生活が送れるように思いやりの気持ちを持って言動する。

#### 集会の形式

○集会を始めるに当たって

- 1 「わたしのせいじゃない」という本を見た後、問題提示を行い、生徒全員に事前アンケートを記入してもらいます。
- 2 次のフォームで取ったアンケートを元に学級で話し合う内容を決めます。
- 3 本番は私たち生徒会で司会進行をし、学級審議に沿って各学級で話し合ってもらいます。学級審議で出てきた案を生徒会でまとめます。  
 学級審議のテーマ：① いじめが起きていたら、止めることができるか？  
 ② いじめを止めるには、どうしたら良いか？
- 4 「江別第二中学校 人権宣言」最終的に全校生徒によるいじめを許さない心を作ります。

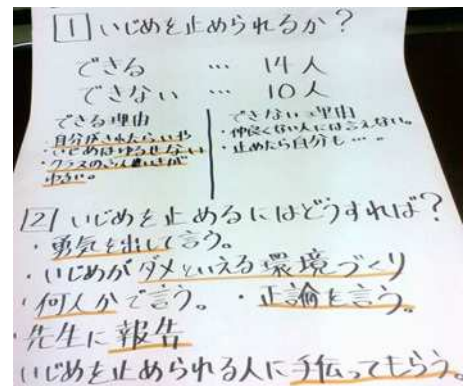
### 令和5年度 若草集会・まとめの一部

いじめの持続や拡大には、いじめの加害者以外に、

- ・観客（はやしたてたり、面白がってみている）
- ・傍観者（見て見ぬ振りをする）

の立場の生徒も大きく影響している。

### 学級審議の様子と学級のまとめ模造紙



### 事前アンケートについて



テーマ

学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気作りのための  
行事などの実施

若草会事務局では、以下の3つの取組を行っています。

- 1,あいさつ運動
- 2,監査報告・日誌
- 3,小中合同あいさつ運動

1,あいさつ運動

〈内容〉生徒会と生徒が挨拶を交わし元気な雰囲気作成を日常監査と両立し、いじめが起こらない学校のムードを作成していきます。

2,日常監査記録

〈内容〉代表委員が記入しており、クラスの状況や授業の様子からクラスの雰囲気を知り、見守ることが目的です。

3,小中合同あいさつ運動

〈内容〉中学生と二小生が共同で挨拶をし、先輩、後輩との関係でいじめがないようにすることが目的です。



↑ 小中合同あいさつ運動の様子



↑ 小中合同地域清掃の様子

※江別第二小学校との交流は、上記のあいさつ運動の他に、合同地域清掃も行っています。

日常監査記録						
月 日 ( ) - 月 日 ( )		年 級 記入者				
日(月)	授業中の様子		休憩の様子		放課後、体育活動の様子	
	○△×	理由	○△×	理由	○△×	理由
日(月)						
日(火)						
日(水)						
日(木)						
日(金)						
休養日						

※ 毎週金曜日の17:00までに各学級の代表委員が生徒会室前に必ず提出して下さい。  
 ※ 行事のある日は記入していません。(テスト、陸上競技大会、中学祭など)  
 ※ 毎日朝の会でもその日の様子を報告して下さい。  
 ※ 私服の違反書については、名前を記入して下さい。  
 ※ 必ず担任の先生のチェックをもらって下さい。

監査委員 確認

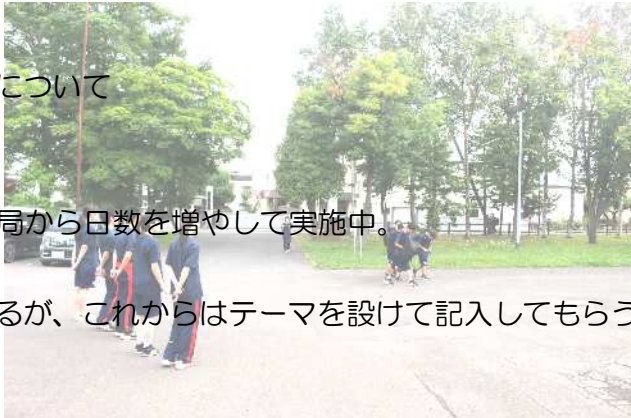
日常監査記録では、学級の様子を代表委員が評価し、前向きにフィードバックすることを心がけ、明るい雰囲気作りにつなげています。



# 第16回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」 発表レポート

学校名	江別第三中学校
-----	---------

テーマ	いじめ根絶に向けた取り組みや考え
<p>●はじめに</p> <p>第三中学校では昨年度と大きくは変わらず、日常生活の中で決まりを守ろうと意識したり行事を最大限に楽しもう、と考えて生活したりする中で、自然と学級内や学年の団結力が高まり、「いじめ」だと思われるような言動が、表だっては見られない状況にあります。しかし、年に2度実施しているいじめアンケートでは、「嫌な思いをしたことがある」「見たり聞いたりしたことがある」とこたえる人が、0人ではありません。友達同士で「からかい」や「あおり」がエスカレートしてしまったり、元々は仲良くしていたのに、ちょっとしたすれ違いでギクシャクしてしまったりするケースがあります。この中学生サミットに参加するにあたり、「これまでの取り組み」と「これから実践すること」について、生徒会書記局で話し合いを持った結果をお伝えしたいと思います。</p> <p>○「いじめ根絶」に向けた生徒会の取り組みについて 【これまでの取り組み】</p> <p>① 朝のあいさつ運動 月初めの定例活動。前生徒会書記局から日数を増やして実施中。</p> <p>② 目安箱の取り組み 何でも書いてよいことになっているが、これからはテーマを設けて記入してもらう形に変更。</p> <p>③ 生徒会ラジオの実施 昨年度の中学生サミットに参加した際に、他校の取り組みに大いに刺激を受け、ぜひ本校でもやってみたいと考え、実施してきた。</p> <p>・2週間に1回程度、お昼の放送で生徒会ラジオの放送 「いじめ」という言葉を使わず、人との温かい関わり方をとりあげていくことでいじめ防止につなげることを期待し、ラジオ番組を行っている。ラジオを通して学級・学年・学校全体が仲良くなれたらという願いを込めて実施している。 全校生徒にアンケートをとりながら、企画・運営することで、みんなが今ほしい情報や、みんなが好きなことなどを共有し、楽しいラジオになるよう、心がけている。</p> <p>&lt;これまでに放送した内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生へ受験応援メッセージと感謝のメッセージ</li> <li>・中体連前の部長にインタビュー</li> <li>・どんな三中を目指すのか、校長先生にインタビュー</li> <li>・体育祭・三稜祭を振り返って</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	



【これから実践すること】

・いじめについて考える集会（生徒会集会）の実施

前生徒会の時からいじめ防止・いじめ根絶に向けて確認する場として全校集会の実施を検討してきたが、実施できなかった。この集会を現在の新生徒会書記局で引き継ぎ、集会の内容を再度検討し、12月19日に実施する。

<ねらい>

○いじめについて考え、これからの学校生活につなげていこうとする。

○周囲の友達としてできることを考える。

○いじめをなくし、みんなが安心して過ごせる学校づくりに向けた意識を高める。

<内容>

・事前アンケートの実施（生徒会書記局で内容決定）

現時点では、アンケートに「はい」「いいえ」で答えたり、記述してもらったり、書記局でイラストを作成し、「あなたはどれがいじめだと思いますか？」と選択する形式のアンケートを作成中。（12月5日実施予定）

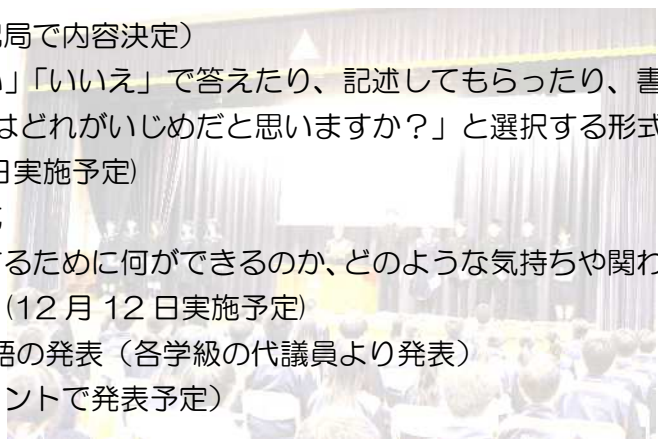
・各学級で「いじめ根絶標語」の作成

全員が安心して過ごせる学級にするために何ができるのか、どのような気持ちや関わりが必要なのかを考え、作成する。（12月12日実施予定）

・生徒会集会(12月19日)の中で標語の発表（各学級の代議員より発表）

・生徒会からメッセージ（パワーポイントで発表予定）

・いじめ根絶宣言の採択



テーマ

学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気作りのための行事などの実施

○生徒会ラジオの活用

・今まで以上に全校生徒が親しみを感じられるような内容を盛り込み放送していく。

○いろいろな場面で生徒会が主導で動く学校づくりへ

・先生方から言われて動くのではなく、自分たちで考え、行動し、実現を目指せる生徒会へと変革していきたい。（自分たちの手でよりよい三中へ）

○生徒会委員会の活動内容の整理・明確化

・それぞれの委員会活動がどのような活動を行っているのかを書記局と全委員長で交流し、活動内容の重さなどに偏りがいないか、委員会の垣根を越えて一緒に活動できるものはないかを新生徒会で整理する。次年度の生徒総会で、委員会活動の見直しを提案し、全校生徒で確認を行う。

●おわりに

前生徒会から実行したいと考えていた「いじめについて考える集会」を、この度、実施できるのが大きな成果と考えます。このレポートの提出期限までに実施できていないため、中学生サミット当日の発表では、この取り組み内容についてお話ししたいと思います。

いじめに関する取り組みについて考える時間を持てたことが、自分たちにとってとても大きく、あらためていじめは許されるものではないという考えを深めることができました。今後も各校の取り組みを参考にしながら、安心して過ごせる学校づくりに貢献して、それを三中の良い伝統として残していきたい、と考えています。

# 第 16 回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」

## 発表レポート

学校名	野幌中学校
-----	-------

テーマ	いじめ根絶に向けた取り組みや考え
-----	------------------

11月8日（水）、生徒会役員で『野幌中学校生徒会会議』を行った。生徒会役員 13 名で「いじめによって嫌な思いをすることなく、全校生徒が明るく笑顔で学校生活を送るためにできること」について話し合った。「自分でできること」「2人でできること」「生徒会役員としてできること」の3つの観点から意見を出し合い、自分たちでできることを考えた。

### 【自分でできること】

- ・先生に相談をする。（いじめアンケート等も含む）
- ・ひとりで抱え込まないようにする。
- ・普段から言葉遣い等に気をつけて生活する。
- ・いじめに気づけるように周りに気をつかう。



### 【2人でできること】

- ・いじめられた人の話を聞く。
- ・休み時間等明るく元気に過ごす。（校内、クラス内の雰囲気づくり）



### 【生徒会役員としてできること】

- ・学年目標を設定し、学級、学校内での生活の問題点を改善できるようにする。
- ・生徒会ラジオを活用して現状や問題点を伝え、全校で共有する。
- ・野中祭などのイベントに力を入れ、みんなが楽しめる場面を設定する。
- ・生徒会役員が明るく楽しく活動する。
- ・リングブル回収やボランティア活動を通して、「誰かのため」の意識を高める。
- ・あいさつ運動を通して、明るい雰囲気をつくる。等

### 【今回の話し合いを通しての感想】

- ・ひとり一人が自分の意見を提示し、それについて話し合うことができた。
- ・それぞれの委員会活動に沿った活動が提示できてよかった。
- ・実際に書き出してみるとできることが考えていたよりもたくさんあり、今後の活動について考える良い場となった。

いじめは絶対に良くないことだし、大体の人はそれを理解しているが、その中で自分にできることを考える機会はあまりないと思う。今回の話し合いの中で出た意見を取り入れて、野幌中学校生徒会独自の活動である「生徒会ラジオ」や普段の委員会活動、行事の運営等に活かし、生徒全員が明るく笑顔で学校生活を送れる環境を生徒会役員として作っていきたい。





<p>テーマ</p>	<p>学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気作りのための行事などの実施</p>
<p>【令和5年度生徒会スローガン】</p>	
<p>「結」…努力が実を結ぶよう、全校で一致団結しよう、という思いから、今年はクラスや学年に関係なく一つになって色々な思い出を作っていきたいという願いが込められている。</p>	
<p>【野中祭 (R5. 9. 29)】</p>	
<p>新型コロナウイルスが五類に移行したことにより、保護者の観覧などコロナ対策を緩和した形で行うことができた。</p>	
<p>(1) ステンドグラス制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスを混合したグループで制作</li> <li>・各グループごとに展示</li> <li>・校庭で点灯式を実施</li> </ul> <p>(2) 生徒会役員としての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開・閉会式の運営</li> <li>・司会・進行</li> <li>・生徒会企画 (ダンス発表・クラス紹介動画)</li> </ul> <p>(3) その他の企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹奏楽部の演奏</li> <li>・教科発表</li> <li>・美術部作品展</li> <li>・ステージバック発表</li> </ul>	
	
<p>【中体連壮行会】</p>	
<p>(1) 市内中体連壮行会 (R5. 6. 8)</p>	
<p>今年度の市内中体連壮行会も全校生徒が体育館にて参加し、各部の決意表明、生徒会代表激励の言葉などを行った。代表生徒激励の言葉では、全校生徒の一致団結と、選手への激励、お互いの健闘を祈る意味を込めて、全校生徒で三三七拍子を行った。</p>	
<p>(2) 市内新人戦壮行会 (R5. 9. 2)</p>	
<p>今年度の新人戦壮行会は、市内中体連壮行会に引き続き、全校生徒が体育館にて参加、各部の決意表明が行われた。新人戦壮行会では、旧部長からの激励の言葉を選手へ送った。</p>	
	
<p>【生徒会ラジオ】</p>	
<p>野幌中生徒会では、「見える・聞こえる生徒会」を実現するため、生徒会活動やイベントについて全校生徒に発信するため生徒会ラジオを毎月行っている。</p>	
	

# 第16回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」 発表レポート

学校名	大麻中学校
-----	-------

テーマ	いじめ根絶に向けた取り組みや考え
-----	------------------

2023年2月22日に、いじめに関する生徒会企画集会を行いました。  
コロナ禍が続いていたため、GoogleMeetを使い、被服室と各学級をリモートでつなぎました。  
生徒会役員は被服室から集会を運営しました。

《取り組み内容》

- ①動画を視聴する  
友達間の無視から始まったいじめ行為をテーマとする動画（2分程度）
- ②各学級で話し合いをする
  - ・班ごとに交流（簡単なワークシートあり）
  - ・班長が発表
  - ・代議員がワークシートを回収して被服室へ移動
- ③代議員が自分の学級のワークシートから2つ程度選んで発表
- ④GoogleFormでアンケートの入力

いじめ集会アンケート  
アンケートへの協力、お願いします。

自分がいじめられたと感じたら、誰に相談しますか？\*

家族

先生

友だち

その他: \_\_\_\_\_

---

友だちがいじめられていると知ったら、どうしますか？\*

相談する

寄り添う

何かしたいと思うが、何もできない

その他: \_\_\_\_\_

---

今回の集会を通して、どんな学校にしたいと思いましたか？\*

回答を入力

送信 フォームをクリア



《取り組んだ結果》

いじめられたら誰に相談するか、友だちがいじめられていると知ったらどうするかなどアンケート結果を集約しました。「どんな学校にしたいと思いましたか？」という質問には、下のよう意見が多く記入され、全校生徒でいじめをなくしていこうという意識を高めることができました。



今回の集会を通して、どんな学校にしたいと思いましたか？

354件の回答

- いじめができるだけなくなるような学校
- いじめがゼロで、みんなが来たい、楽しいと思える学校にしたい
- いじめのなくお互いの意見や違いを尊重し合える学校にしたい。
- 仲いい学校
- 男女みんなが仲良く明るく元気な学校。
- いじめのない楽しい学校になればいいと思う
- 誰もが楽しんで学校生活を送れる学校
- いじめがない安全安心で楽しい学校にしたい
- いじめは長くない！



テーマ

学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気作りのための行事などの実施

### 《現状と課題》

コロナ渦から抜け出したものの、生徒会役員それぞれが部活動などにも一生懸命に取り組んでいるため、生徒会活動に使える時間が増えることはありません。限られた時間を有効に使い、効果的な活動をしていくことが課題です。

### 《時間の有効活用への挑戦》

時間を有効に活用するために、タブレットを使用しています。実際に集まって話し合いをする時間がないので、生徒会のクラスルームや共有ドライブ内でやりとりをしています。

生徒会長が挨拶活動の割り当てを連絡したり、先生から生徒会誌の原稿の提出依頼が来たりなど、これまで集まって行ってきことがほとんどクラスルームでできるようになりました。生徒会役員もクラスルームをチェックすることが習慣化してきているため、作業が進まなくて困るといったことはありません。

「話し合い用ジャムボード」というフォルダがあり、話し合っ何かを決める必要があるものはジャムボード上で意見交換をし、決定しています。

クラスルームを使用することで、限られた時間でも生徒会活動を進めていくことができます。



### 《効果的な活動への挑戦》

これまで行ってきた活動をそのまま続けるのではなく、学校を良くするための活動に変えていかなければいけません。

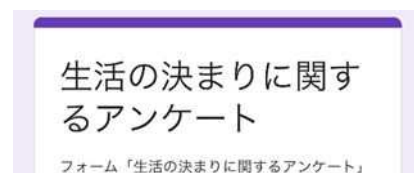
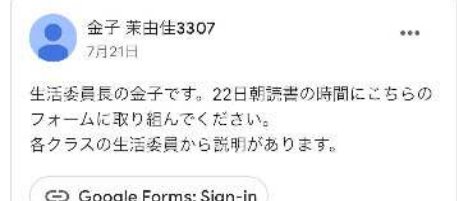
生活委員会では、生徒の意見から学校のきまりを変えていこうとする活動をしています。

大麻中学校では、靴の色にきまりがありますが、生徒会、生活委員会の活動により、靴のきまりが緩和される可能性が出てきました。過程は次の通りです。

- ①生活委員会で全校生徒に学校のきまりについてのアンケートを実施
- ②アンケート結果からきまりを変えてもよいと考えられるものを選び、生活委員会の意見として生徒会役員で審議
- ③生活委員会担当の先生を通じて先生方に審議してもらう
- ④職員会議で承認が得られた

文字にすると簡単そうに見えますが、生活委員長は粘り強く委員会内の話し合い、担当の先生への交渉を続けてきました。また、季節に応じたきまりがあるため、季節ごとにアンケート結果が違うだろうという仮説を立て、夏と冬にアンケートを実施しました。結果は、夏ならではの意見があったり、寒さに対する意見があったりと全く違う意見を集めることができました。

このように、生徒の意見からきまりを変えるという生徒会の新たな1ページを作ることができました。まだまだ、始まったばかりですが、確実に生徒の力で学校を変えていけるということがわかりました。これからも効果的な活動を目指していきたいと思ひます。



# 第16回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」

## 発表レポート

学校名

大麻東中学校

テーマ いじめ根絶に向けた取り組みや考え

今年の大麻東中学校のいじめ根絶に向けた取り組みについて、まずテーマを設定しました。テーマを設定し、学級毎で生徒会が作ったスライドを見て、勘違いやすれ違いから人間関係のイザコザが起こるかもしれないので、人と人の距離感について考えることにしました。

テーマ

「人と人の距離感について考える」

テーマ設定理由

勘違い、すれ違いによる人間関係のイザコザや、仲がいい友達でも嫌がっていることがあるかもしれない、その距離感を今一度見つめ直すためです。

1・学級道徳での活動 例え以下のような事例をいくつか提示

1) 学級で電子黒板を使ってスライドを見る。(読み上げない。スライドを見る)

(1) A「さっきは言いすぎたよ」

B「もういいよ」

その時、直感で手を上げてもらう。

①気にしてないから大丈夫

②あなたのことなんかどうでもいい

あなたはどう思いますか!??と聞きます

活動1・・・個人でワークシートに記入

活動2・・・班で話し合い(今まで経験したすれ違いや勘違いによるトラブルなどを交流する)さらに、どうしたら解決できるのか話し合う

活動3・・・まとめ

活動4・・・フォームで、

1] 実体験の募集 2] してもらって嬉しかったことを募集

3] 気づきと振り返り

を送信してもらう



2・この学級活動から全校集会へ(30度を超える日が続き急遽リモート集会に変更)

1. 学級での話し合いで以下のような意見が出た。

・言葉の捉え方でトラブルになる・伝え方に問題がある・冗談が通じなかった・嘘や噂を信じてしまった・言い方や、口調、言葉足らずで傷つけてしまったなど

2. 生徒会がこのようなトラブルをもとに動画を作成

3. 4人グループで動画を見て解決策を話し合う

この結果、「誤解を生まないような言葉遣いをする」「LINEやSNSでは、!や?絵文字などを使う」「気持ちの表現に気をつける」などの意見がありました。

## ハートの取り組み

いじめ根絶集会で行ったことをもとに  
勘違いやすれ違いによるイザコザを起こさ  
ないために大切なことをハートの紙に記入  
しました。



## テーマ

学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気作りのための  
行事などの実施

## 生徒会の雰囲気作り

### 全校集会の余興

全校集会の最後に生徒会が企画した余興を行いました。例えば、「先生クイズ」や「お絵かきですよ」、「伝言ゲーム」などです。特に「先生クイズ」は先生の趣味や好きなものなど意外な一面も知ることができて盛り上がりを見せています。

### 縦割り企画

縦割り企画として、保体委員がアンケートをとり、昼休みにケイドロを実施しました。今年度も昨年度同様にアンケートをとって企画を実施するほか、名前や趣味、座右の銘などが書かれた自己紹介カード交換会なども予定しています。

## 学校祭での取り組み

### オープニングの吹奏楽部の演奏

#### (1) 先生 vs 生徒

学校祭での新たなプログラムとして「先生 vs 生徒」を行いました。  
事前に先生とゲーム で競いたい人を募集して、学校祭のオープ  
ニングで目隠しチャンバラで競いました。



#### (2) 有志発表

上記と同様に事前にダンスや歌を歌いたい人などを募集しました。ステージに立って全校の前で披露してもらいましたが、生徒だけでなく先生も歌を披露し、とても楽しい時間となりました。

#### (3) ビンゴ

最後には全校でビンゴ大会をしました。早くビンゴした人には賞品もあってたくさんの人に笑顔が見られました。

## 学校祭での新たな部門 担任の椅子

### 実際に作られた椅子

今年度の学校祭で新しく追加された部門「担任の椅子」。  
これはそれぞれの担任の先生をイメージした椅子を作ると  
いうもので、材料はダンボールとガムテープだけ。トレー  
ニングチェアを作ったり、トイレを作ったり!!個性豊かな  
椅子が出来上がり、完成後はしばらく玄関の廊下に飾られました。



## 受験応援メッセージ

生徒会では、12月ごろから受験生である三年生への応援メッセージを企画し全校の(一・二年生)皆さんに冬休み前に書いてもらい、廊下に掲示することを予定しています。さくらの花びらを模した形の紙に一言ずつ応援の言葉を書いた形で掲示しようと考えています。

# 第15回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」

## 発表レポート

学校名	江陽中学校
-----	-------

テーマ	いじめ根絶に向けた取り組みや考え
-----	------------------

### 1. 今年度の取り組み

本校はこれまで生徒会が主催し、7月・12月の年2回いじめ撲滅集会を行ってきた。昨年度の生徒会での反省を生かして今年度からは少し方法を変更した。昨年度までの集会は生徒会が『いじめについて全校生徒が考える時間』を目的として時事的な問題を取り上げてスライドを用いて講話をするという形を取っていた。参加している生徒は真剣に話を聞き、いじめについて考える時間を作ることができていたと感じている。しかし、この方法だと自分の思いをアウトプットすることができていないと考えた。そこで、今年度は集会前に道徳の時間をいただき直近のいじめアンケートの内容を全校生徒に伝えた上で『いじめ撲滅標語』を募った。そして、各クラスでそれぞれが考えた標語を共有し、学級代表を選定してもらった。それをいじめ撲滅集会で発表して、全校生徒で共有を図った。

### 2. 成果と課題

今年度の取り組みは、これまで集会時の1時間で完結していた『いじめについて考える時間』が、事前の学級での取り組みによって長く深くなったと考えている。また、いじめについて考えている思いを学級や全校で共有することで、これまで以上に自分の身近なことと捉えられる機会を作ることにつながったと思う。その一方で、いじめは依然としてゼロになるには至っていない。アンケートの結果を見ると「軽い遊び」や「からかい」が原因でいじめに発展している事例が多い。集会の時だけでなく、日常的にいじめについて考える機会を設けることが必要だと感じた。来年度は、江陽中学校のいじめ撲滅に向けた宣言をし、ポスターなどを廊下に掲示していきたい。

テーマ	学校内でいじめが起らないような明るい雰囲気づくりのための行事などの実施
-----	-------------------------------------

### 挨拶改革

#### 1. 今年度の取り組み

本校は毎朝、「生徒会役員」「代表委員」「生活委員」と協力して挨拶運動を行っている。登校したら生徒玄関や各学年のフロアに立って、挨拶をするという取り組みである。担当者から積極的に挨拶をすることで気持ちのいい朝を迎えてほしい、挨拶をする習慣を身につけて欲しいという願いのもと行っている活動ではあるが、大きく分けて①気持ちのよい挨拶を返してくれる生徒②返してくれるが声が小さい生徒③目も合わせてくれない生徒と3パターンの生徒がいることが日頃の挨拶運動によって明らかになった。そこで6月に挨拶強化週間を設定して、これまで担当していた委員会を拡大し、全委員会が日替わりで挨拶運動を行うことにした。その後、挨拶運動に参加した生徒を対象に江陽中の挨拶は向上したと思うかアンケートに回答してもらった。

#### 2. 成果と課題

アンケート結果を見ると多くの生徒が①気持ちのよい挨拶を返してくれたと回答した。これまでも挨拶向上を目指した挨拶運動を行ってきたが、参加した生徒の感想を聞くまでには至っていなかった。そのため今回の事後アンケートによって挨拶運動は改めて有意義な活動だということがわかった。また、「例年やっている取り組み」だからとその活動が形骸化しないように意味を見出せたことは大きな成果だと感じる。次年度も形を変えて継続していきたい。



## 学習発表会

今年度はようやく新型コロナウイルスによる制限が解除されて開催することができた。コロナ禍を経て、学習発表会の内容も見直され、制約によって行うことができなかった内容を再開するなど、これからの江陽中学校のベースになったと考えている。生徒会として取り組んだ内容は

(1) オープニングセレモニーと(2) ステージバック装飾の2点だった。

(1) オープニングセレモニーでは、学習発表会のはじまりのプログラムを担った。生徒会役員で事前に動画を作成し、当日は動画と現実を行き来しながら視聴できる内容を考えた。全員が参加したBINGOの結果が、動画の進行に関わるという工夫ができてよかった。学習発表会では多くの生徒が全校生徒の前に立って発表する機会があったため、オープニングで少しは緊張を解くことができたと考えている。

(2) ステージバック装飾では、夏休み前より今年度の生徒会テーマである『陽翔』をイメージしたイラストを募り、その中から原画を決定した。縦270cm×横540cmの大きさを各クラスで分担して大きな貼り絵に仕上がった。一部の色に星形のブロックを貼ることで絵に立体感を出すことができた。

2つの企画を考える上で「昨年度よりもいいものを」「全校生徒で取り組める内容」から外れることがないように意見を出し合った。これまでの先輩方の活動を振り返り、いいものは継続させて修正する場所は修正していった。

学習発表会に向けては、夏休みの前から少しずつ話し合いを始めており、企画の大枠などを決めていた。夏休み中には何度か学校で集まり準備を進めた。その際に、タブレットを活用したことは今年度成功できた要因だと考えている。学習発表会に関わらず、生徒会で作成しているお便りや行事の進行表等をGoogleドライブで共有し、いつでもどこでも役員が確認し合えるようにしている。その結果、何度も人数分印刷をすることも無くなり、時間と資源に余裕ができたため、企画の内容を決めるための時間を多く確保することができた。



まとめ

新体制になって

前期は【何事にも全力でそして丁寧に抜かりなく】という目標を掲げ活動してきた。先にも記述したように、今年度はコロナ禍での制限がなくなり行事等は、私たちの経験してきた形とは違い規模を拡大した形で行うことができた。そのため、抜かりなく下準備をすることに徹して活動することで生徒会としての役割を果たせたと感じている。

10月には生徒会役員選挙によって新たな役員での活動がスタートした。当初は「準備すること」に追われて目の前にある仕事で精いっぱいだった。そんな中で立てた後期からの目標は【何事にも見通しを持って】である。今年度から導入された全校生徒が持っている手帳を上手に活用しながら生徒会が担う、学校での役割を果たせるように、見通しを持って活動していきたい。そのためにはこれまで先輩方が残してくれた伝統をさらに発展させていきたい。

# 第16回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」

## 発表レポート

学校名

中央中学校

テーマ

いじめ根絶に向けた取り組みや考え

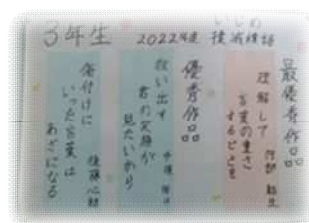
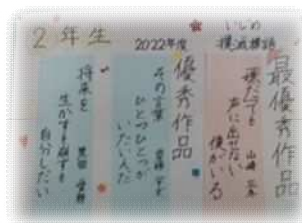
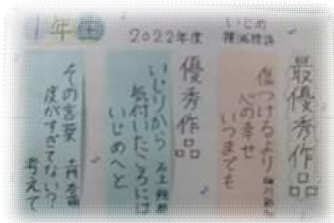
### 〔いじめ撲滅標語の募集と掲示〕

いじめが起きないように、そして絶対に起こさないように生徒全員がいじめ撲滅について真剣に向き合う場をつくっている。

各学年から最優秀賞を1作品、優秀賞を2作品ずつ生徒会役員が選抜し、多くの生徒が利用する階段の踊り場に一定期間掲示している。

### （課題と成果）

- ・より多くの生徒に見てもらえるよう階段の踊り場だけでなく玄関にも目立つように掲示する。
- ・生徒のいじめに対する思いを言葉という形で表し、いじめをなくすという意識を持ってもらえた。



### 〔ピンクシャツデーの取り組み〕


ジェンダーレスやいじめ、差別をなくすために今年度の新しい取り組みとしてピンクシャツデーを行った。事前に昼の放送でピンクシャツデーの根源について伝え、生徒に理解してもらった。

- ・ピンク色のマスクを全校生徒に配布  
→全員がマスクを着用とはならなかったが、先生方もピンクの服を着てくださり、多くの人達が協力してくれた。学校全体で取り組むことができた。
- ・ピンクのシャツ型の画用紙を配布し生徒全員にいじめに対しての思いを書いてもらった。  
→その画用紙を玄関に掲示し、書いてもらった内容を放送で紹介した。全校生徒で、それぞれの思いを共有することができた。

### （課題と成果）

- ・今年度はマスクを着用する生徒が減ったため、マスク着用以外の取り組みを考え、実施していきたい。
- ・呼びかけを徹底し、できるだけ多くの人に参加してくれるような工夫をしていきたい。



<p>テーマ</p>	<p>学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気作りのための行事などの実施</p>
<p>〔文化祭について〕</p> <p>今年度も江別市民会館で実施した。</p> <p>9月27日 開催式・生活体験文、英語暗唱全校発表会</p> <p>9月28日 オープニング・合唱コンクール</p> <p>9月29日結果発表・フィナーレ</p>	<p>〔オープニングについて〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員がオープニングムービーを制作した。</li> <li>→脚本作りから撮影、編集まで全て生徒会役員が協力して行った。市民会館のステージ上にプロジェクターで投影した。</li> <li>・編集ではCanvaを使った</li> <li>→字幕やイラストを工夫して動画を作った。全校生徒の文化祭に向けての気持ちが高まり、盛り上がるような内容で制作した。</li> </ul>
<p>〔課題と成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが緩和され、開催式からフィナーレまで全校生徒が市民会館・体育館に集まって行うことができた。</li> <li>・オープニングでは笑いが起こり会場を暖かくすることができた。</li> </ul>	
<p>〔中体連壮行会について〕</p> <p>昨年はリモートだったが、今年は全校生徒が体育館に集まって実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動に所属していない生徒会役員が応援団として選手にエールをおくった。</li> <li>→先生や選手から好評だった。</li> <li>・一般生徒も三三七拍子に協力してもらった。</li> <li>→全校生徒一丸となって応援することができた。</li> </ul>	
<p>〔課題と成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも応援団を続けていきたい。</li> <li>・和太鼓を使いさらに会場を盛り上げることができた</li> </ul>	
	
<p>〔赤い羽根共同募金〕</p> <p>赤い羽根共同募金とは日本の募金活動の一形態、「自分の町を良くするしくみ」として取り組まれてきたものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝生徒会役員が挨拶運動を兼ねて募金活動を行った。</li> <li>→新体制になって初めての活動で活気づくことができた。</li> <li>・赤い羽根共同募金の目的や助成先などについて動画にまとめ放送した。</li> <li>→募金されたお金がどうなるのか知ることによって活動を身近に感じ協力してくれる人が増えた。</li> </ul>	
<p style="text-align: center;">まとめ</p>	
<p>今年は新型コロナウイルスによる規制がかなり緩和され、全校生徒が体育館に集まって昨年度制限されて取り組むことができなかった活動を行うことができた。また、ピンクシャツデーという新しい取り組みを実施することができ、学校中がピンクに染まった。</p> <p>これからも生徒会で学校がより良くなるような企画を考え、実施していきたいと思う。また今年度実施した取り組みを最大限に活かし、引き続き自分たちにできることを行っていきたい。</p>	

# 第 16 回「えべつ中学生サミット&いじめ根絶子ども会議」

## 発表レポート

学校名

立命館慶祥中学校

テーマ

いじめ根絶に向けた取り組みや考え

私たち立命館慶祥中学校生徒会役員会は、新しいメンバーになって間もないため、まず自分たちの身の回りの体感を大切に、「いじめとはなにか」「実態はどうなっているのか」を考える活動を行った。

### ★いじめとは何か

いじめとは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」(文部科学省より一部抜粋)

### ★江別スマート 4 RULES (ネットの正しい使い方) について考える

- 1 について立命館慶祥でも、夜 9 時以降のやり取りは基本的に行わないとしている。(親との連絡などは例外)
- このルールを把握している人は少ない(江別市に住んでいない人が多いのもある)
- 全員が自分の判断で節度ある使い方が出来れば、ルールは作られないはず。では、現状どんな使い方がされ、どんな問題が起こっているのか?今回は問題でもとくにいじめと関わる部分について考える

### ★立命館慶祥中学校ではいじめが起きているか ⇒役員が認識している中だけでも「起きている」

- どんないじめが多いか

①相手が嫌がるあだ名で呼ぶ

②ネットで悪質な書き込みをする

以上のようにコミュニケーション上の問題や SNS 上でのやり取りの問題などが実態としてあるのではないか

- なぜいじめは起きるのか ⇒「いじめ」と「いじり」「じゃれ合い」の境界線が曖昧になっている

⇒被害者には我慢の限界が来るが、加害者側はどこまでもすることができる

⇒「みんなと少し違う」ことが種になっているのではないか

- いじめる側の心理

⇒いじめていると思っていない(いじりやじゃれ合いだと思っている) / 少しの違いが我慢できない / 個性と何かをはき違えている? / いじめる側にとってのバランスを崩す者の排除 / 家庭環境や勉強からくる精神的ストレスをぶつける

- いじめられる側の心理(親や先生に相談できない)

⇒心配させたくない、悲しませたくない / 深刻な問題として捉えてよいかわからない / 自分でもいじめだと気づいていない / 学校の対応が不十分であればさらにエスカレートする可能性がある / 自分が「いじめられていること」を現実として認めることになる

★「いじめ」と「いじり」の違い

- ・やる側は冗談だと思っている
- ・やられる側はいじられキャラを演じることで居場所を確立しているので、やられる側は嫌でも言い出せない

★いじめをなくすためには

⇒「いじめっ子」「いじめられっ子」「傍観者」がいるなかで、傍観者を減らし、仲裁者を増やす  
⇒個人の問題にしない。いじめを通報しやすい雰囲気、早期段階で介入しやすい環境  
⇒加害者生徒の状況の把握などから、一人一人に向き合って、いじめをなくすしかないのではないか。

テーマ

学校内でいじめが起こらないような明るい雰囲気作りのための  
行事などの実施

立命館慶祥では様々な行事が開催されている。そのたびにクラスやグループの中で、この人はどのような立ち位置で携わっているのか、どんな作業が得意か、あるいは苦手か、など個人を知るきっかけを作ることが出来ているというのが、一部の役員会の実感だ。お互いを知ることができる機会は、いじめをなくすための第一歩なのかもしれない。

反対に、行事の数を増やすことは逆効果ではないかという意見もあった。なぜなら、すでに集団の中にグループが形成されており、新しい一面を知る機会が失われる人もいること、また知る機会があっても思いもよらない一面を知って決裂につながる機会になってしまうのではないかと、という懸念があるからだ。行事では一つの方向に向かう必要がある中で、意見が割れてしまった時に、人数が多い方に人がついてしまう傾向があるだろう。少数派の意見だからという理由でいじめにつながるような言動が増える可能性もゼロではないのではないかと。

また、私たちはいじめをなくせるよう「明るい雰囲気づくりのための」行事を実施することは必要ないと考えている。なぜなら、「明るい雰囲気」にするため、したために明るい雰囲気についていけず犠牲になる人も多いのではないかと考えたからである。一つの目標を決めてそれを達成しようとする雰囲気のある行事は、集団が協力する機会として必要ではないか。少数派の意見を尊重するためにどのように議論をしたり、決定をしたりするか、という方法を考え、身に着けるためにはどうしたらよいか、今後具体的な活動を考えていきたい。